

道徳通信

～「初めての伴奏」～

愛西市立八開中学校

道徳通信

令和3年11月16日

赤ブロック職員No. 3



「初めての伴奏」

～道徳「クラスで何かを成し遂げるときにどんなことを大切にしていきたい？」を通して考えました～

理子は、校内合唱コンクールのピアノ伴奏者に立候補します。一学年上の姉がピアノ伴奏者に決まり、父と母が褒めているのを聞いたからです。しかし理子は、伴奏をたびたび間違え、周りの生徒に非難されます。皆の歌声もまともらず、指揮者の陸は、このままでは聴きに来てくれる人に失礼だと言います。その言葉に「ピアノの伴奏は、クラス全員の歌とセットなのだ」と気づかされた理子は、「合唱をよいものにするために、まず、自分が変わらなければ」と、ピアノの練習に励みます。理子のがんばる姿に、クラスのみんなも「クラスのためにがんばろう」と思い始めます。

合唱コンクールの練習をする生徒たちの物語を通して、お互いの役割や能力を尊重し、協力し合うことの大切さについて考えました。

1年青 ●● ●●さん

理子の気持ちの変化は、陸の言葉が大きく関係していると思った。だから、理子も変わろうと思うことができ、クラスメートも意識が高まったと思った。私も、まず自分が出来る事を考え、行動したりアドバイスをしあったりする事を大切にしたい。

2年青 ●● ●●さん

自分を変えるためにどういうことをすれば良いのか考えてる中でなるほどという意見があった。ピアノを弾いた経験があったので理子の気持ちが分かった。男子に言われてからの理子が一生涯懸命練習しているところはすごい努力だと思った。積極性や協力することを大切にしていきたい。

3年青 ●● ●●さん

私は1人で物事を考えがちだけどみんなで取り組めるようにしようと思った。陸の言葉に報われたという意見は私は思いつかなかったのだからなるほどと思った。自分だけのことだと思わないこと、困ったときは友達にも頼る！

1年赤 ●● ●●さん

自分は何のためにこれをしているのかを、再認識することが大切。攻め合い、蹴落とし合うのは、時にはライバルとしていいのかもしれないけど、合唱というみんなで作り上げるものは、協力が大切だと思う。

2年赤 ●● ●●くん

ミスしたことをマイナスに捉えるんじゃなくて、プラスに捉えて自分の出来ることをやり遂げるのが大切なんだなと思った。間違えた人を責めるんじゃなくて、励ましたり、アドバイスしたりしていきたい。

3年赤 ●● ●●くん

たかが一人、されど一人が変わることで合唱という仲間の行事を作っていけると学んだ。「時間は有限」このことを念頭に置いた上で、努力の輪、絆の輪がクラスに広がるようにしていきたい

1年黄 ●● ●●くん

クラスで取り組むときには自分が上手になって、クラスのできない子に教えたい。自分が真剣に取り組んで雰囲気を作っていくことで、みんなが一つになっていくようにしたい。

2年黄 ●● ●●くん

自分が責任を持ってやり、最後までやり遂げ、クラスの誰かがミスをしてもらえないことが大切だと思った。自分が理子だったら諦めていたかもしれないけど理子の頑張りを認めてあげることが大切だと思った。自分が理子だったら諦めていたかもしれないけど理子の頑張りを認めてあげることが大切だと思った。

3年黄 ●● ●●さん

みんながやらないからやらないとかじゃなくて、自分だけでもきちんとやろうとか前向きな気持ちで頑張ることを大切にしたい。それでもうまくいかなかったとしても何も考えない・やらないじゃなくて、何かは考える・やる。クラス全体の雰囲気がよくなるためには誰かが変わらないといけないと思った。